

## (米国) 見かけほどは減速していない1～3 月期 GDP

27 日発表の 23 年 1～3 月期 GDP(速報値)は、前期比年率 1.1%と 22 年 10～12 月期の同 2.6%から大きく減速した。内訳を見ると、個人消費支出は同 3.7%成長(寄与度は+2.48 ポイント)と消費の堅調さがうかがえる内容となった。住宅投資は同▲4.2%(寄与度は▲0.17 ポイント)と8 四半期連続のマイナス成長となったものの、3 四半期続いた 2 桁マイナス成長からは持ち直しつつある。輸出は同 4.8%、輸入は同 2.9%成長となったことで、純輸出の寄与度は+0.11 ポイントと小幅にとどまった。

一方で、民間在庫変動の寄与度は▲2.26 ポイントと、経済成長率を大きく押し下げた。こうしたことから、GDP から純輸出と在庫変動を除いた国内最終需要の成長率は同 2.9%と 7 四半期ぶりの高い伸びとなった。以上から、23 年 1～3 月期 GDP は、見かけよりは減速していないといえるだろう。

ちなみに前年比でみると、23 年 1～3 月期 GDP は 1.6%成長(22 年 10～12 月期は同 0.9%)と加速した。3 月 FOMC での見通しによると FOMC 参加者は、23 年 10～12 月期に同 0.4%(中央値)まで成長率が減速する予想しており、金融引き締めと低成長は継続する見込みとなりそうだ。

